

SAKAI 見守りねっと通信 第8号

2025.3

堺市高齢者見守りネットワーク事業

発行：堺市 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 電話072-228-8347 FAX072-228-8918

令和6年度

堺区高齢者見守りミーティング

～見守りミーティングとは～

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、地域や関係機関が連携して効果的な支援ができることをめざし見守り機運の更なる向上・顔の見える関係づくり等を深めることをねらいとしています。

本年度は2日間の研修がありました。2日目の様子を紹介します。

令和7年2月3日、堺市総合福祉会館で堺第2圏域の高齢者見守りミーティングを開催しました。

薬局、介護事業所、郵便局等の協力事業所や民生委員、校区福祉委員等総勢37名の参加があり、地域包括支援センター等相談支援機関とともに意見交換を通して交流を図りました。

今回は、「地域での様々な活動を通して高齢者の見守りを考える」というテーマで講義やクイズをした後、1グループ3人になってフリップボードディスカッションをしながら意見交換を行いました。



講義「地域での様々な活動を通して高齢者の見守りを考える」

現在、独居世帯のうち7割が高齢者となっており、そのため周りとの『つながり』や『見守り』が必要とされています。しかし、これらは漠然としていてわかりにくいかも知れません。

見守りには3種類あります。1つ目は「緩やかな見守り」。これは、普段地域でのあいさつや声かけなど日常的なつながりのなかで見守ること。2つ目の「定期的な見守り」は、民生委員や校区福祉委員が定期的に月1・2回決められた日に訪問する見守りのことで、3つ目の「専門的な見守り」は地域包括支援センターなどが見守ることです。

最近では「人と人のつながりが希薄」と言われていますが、「つながり」とはご近所の方とあいさつを交わすことや、関わりがなくても普段の様子を『知っている』こともつながりの一つです。(ちょっとした気づかひも立派なつながり)。見守り活動において、自ら働き役割を持つことで、2つの「見守り効果」がある相互の関係であるため、皆さんも日頃は『見守る側』として活躍されていますが、実は、活動そのものが『見守られている』ことにもつながっているんです。なので皆さんも、もしものことがあった時には、助けられ上手になりましょう。という内容の講義でした。

緩やかな
見守り

定期的な
見守り

専門的な
見守り

【当事者の声】 錦綾校区 民生委員の方にお話をうかがいました。



錦綾校区の民生委員である二宮さんにお話をうかがいました。

錦綾校区は独居世帯の高齢者が多いため、独居世帯の高齢者(70歳以上)が集う「千寿会」があり、会員数は120名になります。この会は年2回見守りを兼ねてパックご飯やインスタント味噌汁を配ったり、自治会主催のツツジ花見の会に招待したりしています。他には、校区の小学生が年賀状を送ったり、地域のカラオケに参加者を集ったりしています。これらの活動は毎月広報紙を発行して回覧でお知らせしています。

大きなイベントや校区の活動を行うことで地域のつながりができるように工夫されているそうです。また、以下の質問にも答えていただきました。

◎活動していて困ったことは？

見守り対象者との信頼関係を築くのが大変です。やはり月日が必要で新人の民生委員の方だと関係を構築していくことが難しいこともあります。

◎活動していて良かったことは？

ふれあい喫茶などで、いろいろな方がいろいろなことをお話ししてくれるのが嬉しいです、つながりを実感できることが良かったです。

◎錦綾校区のこれからの目標は？

行政から民生委員や自治会などに届く災害時の避難行動要支援者の一覧表などを有効活用し、防災に強い校区をめざしていきたくと思っています。個人情報であるため、どのようにこのリストを活用して行けばいいのかがこれからの課題です。

グループワーク

3人グループを作ってください、フリップボードディスカッションを行いました。

ディスカッションは、1分間でテーマについて思いや考えを短い言葉で用紙に書き、フリップを見せ合い、一人ずつ発表し合いました。



ディスカッションの中で出てきた意見

■見守りをしている困っていることは？

- ・兄弟や夫婦だけで暮らしているご高齢の方は閉鎖的な人もおり、いろいろな支援の話をしてもらってもなかなか第三者に助けを求めたり受け入れてもらえなくて支援につながりにくかったり、時間がかかる。

■見守りをしている良かったことは？

- ・民生委員になり始めに、自治会で月1回開催している平均年齢80歳の集まりに参加した。当初は、ご年配の方の話を聞いて座っているだけだったが、夜警の炊き出しなどを手伝っているうちに周りの人から頼られるようになってきて自分の居場所ができた感じがして安心感が持てた。
- ・視覚障害の方が地域包括につながったことが自分の中で良かったなあとと思った。直接見守りしていた方ではなかったが、他の訪問先の方から一度相談に乗ってあげて欲しいという話を聞き、つながりが持てたことが良かった。

■自分が見守られる側になった時にどんな見守りをしてもらいたいか？

- ・付かず離れずの関係性がいい。ただ、こちらから何かあったら連絡できる先は確保しておきたい。

■自分にとって見守りとは？

- ・いろいろなサービスがあり利用しているが、介護している側に何かあった時見守り活動は生命をつなぐ最後の砦になる。

■今日からできそうなこと

- ・あいさつから始める声かけなど、自分の窓口を広げていきたい。
- ・新たにというよりはずっと今のつながりを続けていくことが大事だと思う。



交流会を終えて

今回の見守りミーティングでは、改めて見守りやつながりが大事だなと感じました。

前半はとても分かりやすい講座をしていただき、その後のグループワークでも見守りとはどういうものなのか、考えさせられる内容でした。グループワークも少人数で行うことで、地域の人の顔が見える関係づくりという観点でも一歩前進したのではないかと思いますし、貴重な意見もたくさんいただきました。皆様、これからもご協力よろしくお願いします。

インタビュー

事業所での見守り活動への取組みや体験談などを聞かせていただきました。

今回は大阪信用金庫 宿院支店 執行役員 支店長の宮本さんと主査の山口さんにお話を伺いました。



大阪信用金庫 宿院支店

執行役員 支店長

宮本 信也さん(右)

主査

山口 拓也さん(左)

●大阪信用金庫 宿院支店について教えてください。

宿院支店には24名の職員が在籍しており、その中でも20～30代が大半を占める大変活気のある支店です。今年5月にはダイシンアルカセンタービルに移転を予定しています。6階建てビルで1階に店舗が入りBCP対策として職員だけでなく、地域の方も津波や災害時には避難場所としてご利用いただけるビルとなっています。

また、社会福祉協議会等と連携し、各家庭で余った食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設、フードバンクに寄付する「フードドライブ」に取り組んでいます。ロビーにボックスを設置し、職員や来店客から余っている食料品を集め、社会福祉協議会等を通じて子ども食堂などで活用されています。



普段は、どのようなお客さんが多いですか？高齢者の利用割合はどれくらいですか？

窓口業務は9時から15時までで、1日に来店される方は40～50人ほどです。普段は法人対応が多いですが、個人の場合7割以上が高齢のお客様となっています。そのため、毎日フロアレディがお客さまのサポートをされていて、来店されるお客様は顔見知りが多いです。



高齢者の見守り活動や啓発について、何か取り組まれていることはありますか？

大阪信用金庫職員は「自主創造」の精神のもと、各支店がテーマを決めて地域の課題解決に向けて取組をしています。その中でも近年深刻化する高齢化に対する問題に着目し、令和6年度の実績では、認知症予防月間である9月に職員向けに認知症セミナーを開催しました。

そして、当店のショーウィンドウを認知症予防のシンボルカラーであるオレンジ色でライトアップし、ロバ隊長設置に協力させていただきました。



また、高齢者に対しては特殊詐欺や闇バイトなどのセミナーを開催したり、12月には堺警察署と堺基幹型包括支援センターにご協力をいただき、今人気の「オバスターズ」をお呼びして特殊詐欺やロマンス詐欺の被害防止を訴える寸劇を披露していただきました。これには、20名ほどのお客さまに来ていただき、大変盛り上がりましたのでまた開催したいと思っています。

高齢者の見守り活動での経験談について教えてください。



実際、振り込め詐欺による振込を警察に来ていただき止めてもらいました。

●どうして振り込め詐欺だとわかったんですか？

そうですね。やはりちょっと話している内容やいつも出金される金額より多いなど、通常とは違う感じがしました。金庫内で決めている「しきい値」を超えた額の現金を出金する場合や不審に思った場合は、一度ローカウンターに案内をして特殊詐欺などではないか

など説明をさせてもらっています。不審な点がなければ出金に応じますが、怪しいと思えば個別に状況に応じて犯罪を未然に防ぐ対応をしていますし、普段から意識してお客様と接しています。

また、窓口がマネーロンダリングの第一の防衛線ですので、日頃接しているお客様の変化に気づけるようにしています。

その他には、認知症の方で通帳・カードの紛失が多い方などは何かあればご家族と連絡が取れるようにしたり、働いているご家族には地域包括などの案内をして地域に繋げています。

●高齢者の見守りにおいて、大切にされていることを教えてください。

宿院支店としては、認知症でなくてもご高齢の方には銀行用語は難しいので、自分の両親や祖父母に接するときと同じように親身になって対応できるよう職員に指導しています。

また、大阪信用金庫としては、全支店長58人を集めて高齢者見守りの勉強会を行っています。



令和7年5月に
新店舗へ移転します。

新店舗地図



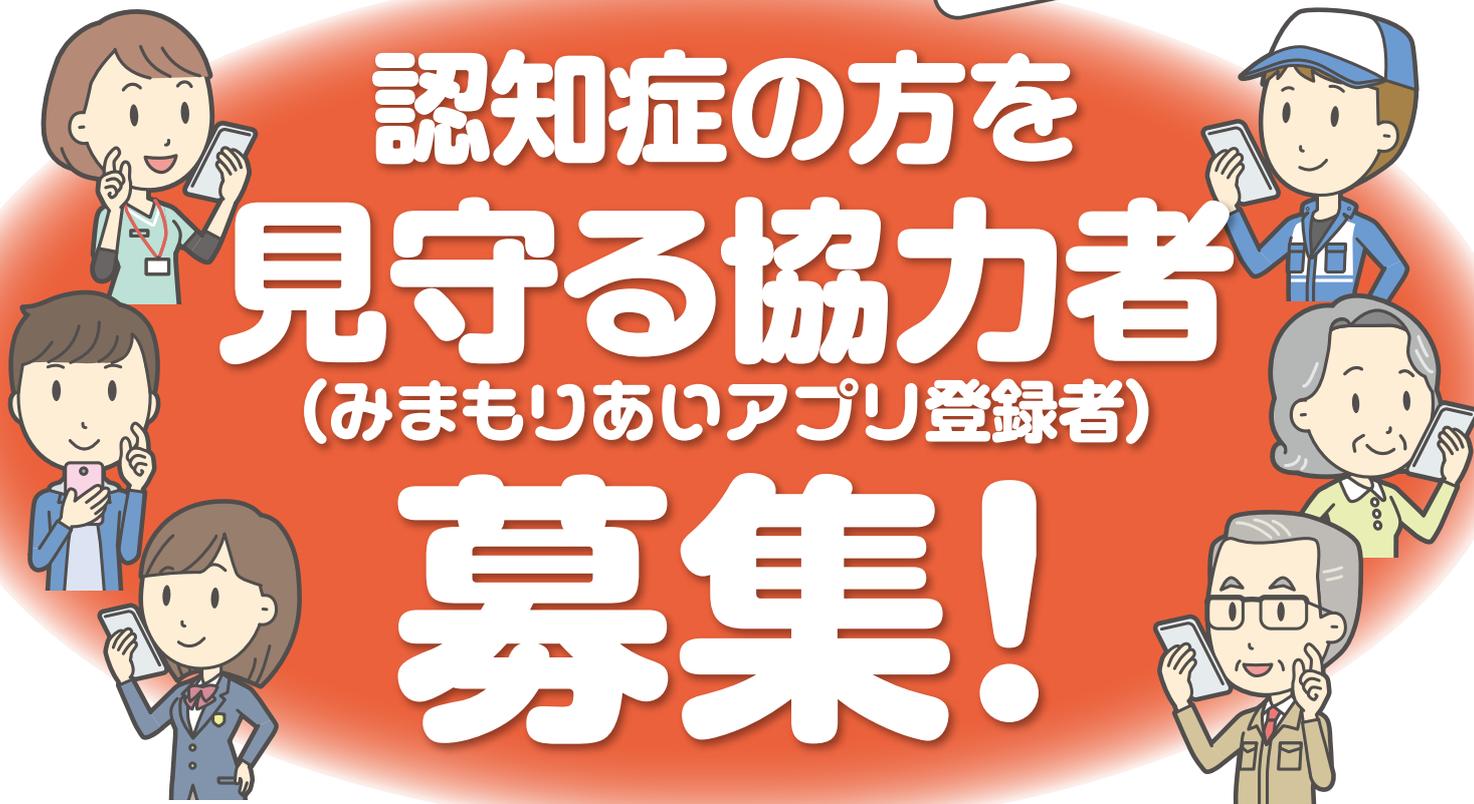
ご協力ありがとうございました。

「みまもりあいステッカー」を活用して高齢者の見守りを！ 堺市みまもりあい事業

堺市みまもりあい事業とは、個人情報保護された状態で、発見者からご家族に“直接”電話連絡が可能な、緊急連絡用のステッカー「みまもりあいステッカー」を活用して、行方不明になるおそれのある認知症高齢者等を地域全体で見守る事業です。



認知症の方を 見守る協力者 (みまもりあいアプリ登録者) 募集!



「みまもりあいステッカー」と「みまもりあいアプリ」が連動して
行方不明者を早期発見！

無料アプリをダウンロードするだけで、だれでも今すぐ協力者になれます！

【アプリ登録方法】

1. App StoreやGoogle Playなどで「みまもりあい」と検索、またはQRコードでアプリをダウンロード。
2. アプリを起動します。
アプリの説明を読んで「次へ」を2回と「はじめる」を押します。
通知の送信は「許可」を選択。
位置情報の使用は「アプリの使用中は許可」を選択。
QRコードの読み取りは「あとで」を選択。
以上でアプリの登録は完了です。

*アプリの登録方法は変更になる場合があります。予めご承知おさください。



みまもりあいアプリ



iPhone



アンドロイド

堺市高齢者見守りネットワークのしくみ

地域の皆さまによる見守り

ご近所づきあいの中で

隣近所 自治会
 校区福祉委員会 民生委員児童委員
 お元気ですか訪問
 ふれあい・いきいきサロン
 ボランティア活動 サークル活動
 など



事業所などによる見守り

普段の仕事の中で

医療機関 金融機関
 介護保険事業所 配食業者
 新聞販売店 郵便局
 電気・ガス・水道事業者
 商店街 コンビニエンスストア
 スーパーマーケット など

「気になるサイン」に気づいたら、関係機関にお電話ください。

結果として何もなければそれにこしたことはありません。

●各地域包括支援センター

●各区基幹型包括支援センター

●各区役所地域福祉課

緊急の場合は
消防署・警察署へ

気になるサイン — 孤立死の予防、認知症・虐待の早期発見 —

- 定期的に来ていた人が最近来なくなった
- 配達したもの（新聞、弁当、牛乳など）を取り込んでいない
- 同じことを言ったり聞いたりする
- 時間や場所の感覚が不確かになった
- 大切な物を何度もなくす（通帳、印鑑、保険証など）
- 少額の買物でもいつも紙幣で払う
- 季節に合わない服装をしている
- 道に迷ったり、深夜に出歩いたりしている
- 最近、近所の人やお店とのトラブルが増えた
- 毎日のようにとなり声が聞こえる

事業所の皆さまにおこなっていただくこと

日常業務の中で「さりげない見守り、声かけ」をお願いします。その中で「気になるサイン」に気づいた時には、高齢者の名前や連絡先がわからなくても時間、場所、状況を「見たまま聞いたまま」を地域包括支援センターなどの関係機関にご連絡ください。

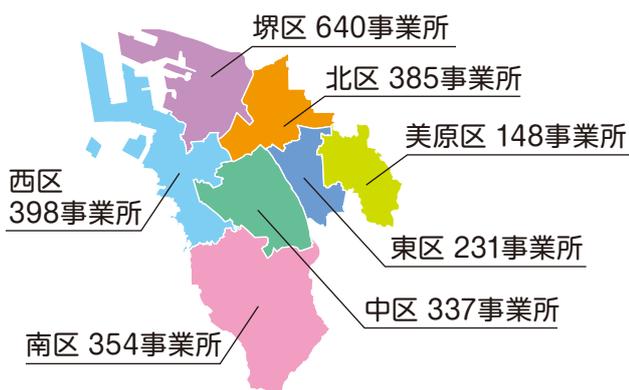
連絡を受けた地域包括支援センターなどの関係機関は、訪問などで状況を確認し、本人や家族が必要な介護サービスや制度、医療につなげ支援していきます。

また、本人やご家族に関係機関の連絡先をご紹介いただいても結構です。

なお、承諾なしに情報元を本人や家族に伝えることはありません。

◆協力事業所

令和6年11月30日現在



◆協力機関

堺市自治連合協議会
 堺市校区福祉委員会連合協議会
 堺市民生委員児童委員連合会
 堺市医師会
 堺市歯科医師会
 狭山美原歯科医師会
 堺市薬剤師会
 日本郵便株式会社
 日本新聞販売協会 大阪府南部支部
 大阪いずみ市民生活協同組合
 農業協同組合 等